患者番号 氏名 生年月日 性別

採取日時 結果コメント

依頼医師

オーダー日

_愛 ··- 愛 検査結果月	般・網赤血		材料	血液	
- 姈査項目	1	—————————————————————————————————————	単位	基準値	結果値コメント
卡梢血液一般検査				***	
WBC	L	1.73	10^9/L	$3.30 - 8.00 \times 10^{9}$)/L
RBC	L	2.97	10^12/L	$4.35 - 5.55 \times 10^{1}$	2/L
Hb	L	8.9	g/dL	13.7 - 16.8 g/dL	
Ht	L	26.0	%	40.7 - 50.1 %	
MCV		87.5	fL	83.6 - 98.2 fL	
MCH		30.0	pg	27.5 - 33.2 pg	
MCHC	L'	34.2	%(g/dL)	31.7 - 35.3 g/dL	
PLT	!L	17	10^9/L	158 - 348 × 10^9/	L
NRBC	Н	甘淮经历	コムとカムフィフ	0.0 /100WBC	
NRBC#		季华 東西	目から外れている	*** 10^9/L	
RDW-SD		場合にマ	アークが付きます	*** fL	
RDW-CV				*** 0/0	
PDW		H:基準	範囲 上限超え	*** fL	
MPV		・甘維維	範囲 下限超え	*** fL	
P-LCR	r	L·举华		*** %	
食査種別 生化学検査 受付日	:	!H / !L : !	緊急異常値		·検査項目の基準範囲を :します
受付日 受付番号 00010		•		血液	します
受付日 受付番号 00010 食査項目		結果	緊急異常値 ^{単位}	血液 基準値	お果値コメント
受付日 受付番号 00010 検査項目 Lび(生化学)		結果	単位	血液 基準値	はます 結果値コメント 示]をクリック
受付日 受付番号 00010 検査項目 Lび(生化学) pm(生化学)		結果 0 0	単位検査結果が	基準値で変更となる可	はます 結果値コメント 示]をクリック 示]をクリック
受付日 受付番号 00010 検査項目 しび(生化学) 容血(生化学) 貴疸(生化学)	,	結果 0 0 0	単位 検査結果が 能性がある	血液 基準値	はます 結果値コメント 示]をクリック
受付日 受付番号 00010 食査項目 しび(生化学) 容血(生化学) 責疸(生化学)	H	結果 0 0 0 0 >1600	単位 検査結果が (仮) U/ 能性がある	基準値 が変更となる可 る仮報告である	はます 結果値コメント 示]をクリック 示]をクリック
受付日 受付番号 00010 全査項目 上び(生化学) 学血(生化学) 貴疸(生化学) ST LT	H	結果 0 0 0 >1600 >1600	単位 検査結果が (仮) (仮) U/ ことを示し	基準値 が変更となる可 る仮報告である	:します 結果値コメント 示]をクリック 示]をクリック
受付日 受付番号 00010 検査項目 しび(生化学) 容血(生化学) 持疸(生化学) AST ALT AD(IFCC)	H H H	結果 0 0 0 0 >1600	単位 検査結果が (仮) U/ 能性がある	基準値 が変更となる可 る仮報告である	はます 結果値コメント 示]をクリック 示]をクリック
受付日 受付番号 00010 食査項目 しび(生化学) 容血(生化学) 情疸(生化学) AST ALT D(IFCC)	H H H H	結果 0 0 0 >1600 >1600 233	単位 検査結果が (仮) (仮) (仮) U/ U/ U/ U/	本準値が変更となる可が仮報告であるています	はます 結果値コメント 示]をクリック 示]をクリック
受付日 受付番号 00010 食査項目 しび(生化学) 容血(生化学) 責疸(生化学) AST ALT ALT ALT ALP(IFCC) ALP(IFCC)	H H H	結果 0 0 0 >1600 >1600 233	単位 検査結果が 能性がある (仮) (仮) (仮) U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/	基準値が変更となる可が仮報告であるています大多数が含まれる	はます 結果値コメント 示]をクリック 示]をクリック 示]をクリック 示]をクリック
受付日 受付番号 00010 食査項目 Lび(生化学) 容血(生化学) 含直(生化学) .ST .LT .D(IFCC) .LP(IFCC) GT	H H H H	結果 0 0 0 >1600 >1600 233	単位 検査結果が 能性がある (仮) (仮) (仮) U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/	基準値が変更となる可が仮報告であるています大多数が含まれる	結果値コメント 示]をクリック 示]をクリック 示]をクリック
を付日 を付番号 00010 を査項目 Lび(生化学) 序血(生化学) 房直(生化学) ST LT D(IFCC) LP(IFCC) ア・GT	H H H H !H	結果 0 0 0 >1600 >1600 233 基準範 もので	単位 検査結果が 能性がある (仮) (仮) U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/	基準値変更となる可仮報告であるていますと多数が含まれる基準範囲外の約	はます 結果値コメント
受付日 受付番号 00010 食査項目 Lび(生化学) 容血(生化学) 含直(生化学) ST LT D(IFCC) LP(IFCC) マ-GT	H H H H !H	結果 0 0 0 >1600 >1600 233 基準範 もので ます。	単位 検査結果が 能性がある (仮) (仮) (仮) (皮) (皮) (皮) (皮) (皮) (皮) (皮) (皮) (皮) (皮	 基準値 変更となる可 仮報告である ています 参数が含まれる 基準範囲外の総 に病気をもつり 	はます 結果値コメント 示]をクリック 示]をクリック 示]をクリック 示]をクリック
を付日 を付番号 00010 全面項目 しび(生化学) 空血(生化学) 空直(生化学) でのである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	H H H H !H	結果 0 0 0 >1600 >1600 233 基準範 もので ます。	単位 検査結果が 能性がある (仮) (仮) U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/ U/	 基準値 変更となる可 仮報告である ています 参数が含まれる 基準範囲外の総 に病気をもつり 	はます 結果値コメント
受付日 受付番号 00010 全面項目 Lび(生化学) 空血(生化学) 空面(生化学) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	H H H H !H	結果 0 0 0 >1600 >1600 233 基準範 もので ます。 内の結果	単位 検査結果が 能性がある ことを示し 関は、健常人のが 建常人であっても また、それとは選 果となることも	基準値変更となる可仮報告であると多数が含まれる基準範囲外の終めに病気をもつりあります	結果値コメント
受付日 受付番号 00010 全面目 しび(生化学) 空血(生化学) 空面(生化学) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	H H H !H	結果 0 0 0 >1600 >1600 233 基準範 もので ます。 内の結果	単位 検査結果が 能性がある ことを示し 関は、健常人のが 建常人であっても また、それとは選 果となることも	基準値変更となる可仮報告であると多数が含まれる基準範囲外の終めに病気をもつりあります	はます 結果値コメント 示]をクリック 示]をクリック 示]をクリック 示]をクリック お検査値の範囲を示す ま果となることがあり
受付日 受付番号 00010 食査項目 しび(生化学) 容血(生化学) 情疸(生化学) AST ALT LD(IFCC)	H H H !H	結果 0 0 0 >1600 >1600 233 基準範 もので ます。 内の結果	単位 検査結果が 能性がある ことを示し 関は、健常人のが 建常人であっても また、それとは選 果となることも	基準値変更となる可仮報告であると多数が含まれる基準範囲外の終めに病気をもつりあります	結果値コメント

採取日時

結果コメント

依頼医師

オーダー日

受付日 受付番号 00010		材料 血液	
发 查項目	検査の概要	単位	基準値
	成長ホルモン		
011	脳の下垂体前葉から分泌される成長促進や代謝調整に関	ng/mL	男性:4.40 ng/mL 以下
GH	わるホルモンで、分泌の不足や過剰を確認する検査で		女性: 7.65 ng/mL 以下
	す。		G
プロラクチン			男性:3.0 - 17.3 ng/mL 女性:1.6 - 21.9 ng/mL(閉経前非妊娠)
	ンで、過剰に分泌されると無月経や乳汁漏出症候群、不		
	妊などをきたすもので、その分泌異常の鑑別などに用い	ng/mL	
	られる検査です。		
	黄体形成ホルモン		
			男性: 0.5 - 7.8 mIU/mL
	月経周期に関連して下垂体前葉分泌されるホルモンで、		女性 成人卵胞期: 1.1 - 12.1 mIU/mL
LH	月経異常や不妊症の原因がどこにあるのか(下垂体か卵	mIU/mL	女性 成人排卵期: 2.0 - 39.7 mIU/mL
	巣か)を調べる検査です。		女性 成人黄体期: 0.7 - 21.6 mIU/mL
	木の/ CM でか1大量 C 7 o		女性 成人関経後:8.4 - 67.7 mIU/mL
	卵胞刺激ホルモン		メ II
			男性:1.3 - 17.0 mIU/mL
	月経周期に関連して下垂体前葉分泌されるホルモンで、		女性 成人卵胞期: 2.6 - 11.9 mIU/mL
FSH	月経異常や不妊症、二次性徴の早発や遅延の原因を調べ	mIU/mL	女性 成人排卵期: 2.8 - 15.6 mIU/mL
	る検査です。		女性 成人黄体期: 1.4 - 9.6 mIU/mL
	SIXE C 9 o		
	甲状腺刺激ホルモン		女性 成人閉経後:13.3 - 157.1 mIU/mL
ГЅН	脳の下垂体前葉から分泌され、甲状腺に対して刺激を与	μ IU/mL	0.500 - $5.000~\mu$ IU/mL (ECLIA)
	えて甲状腺ホルモンを分泌させる働きのある物質で、甲		
	状腺ホルモン分泌の不足や過剰を鑑別する検査です。		
	1人がパルモンガルの小足や過剰を鑑別する検査です。		
free T4	遊離サイロキシン	mg/dL	0.88 - 1.62 ng/dL (ECLIA)
	甲状腺から分泌されるホルモンで、TSHと合わせて検査		
	遊離トリヨードサイロニン		2.33 - 4.00 pg/mL (ECLIA)
ree T3	甲状腺から分泌されるホルモンで、TSHと合わせて検査	pg/mL	
	することで、甲状腺の機能状態を調べる検査です。		
サイログロブリン	甲状腺ホルモンに変化する前の物質で、甲状腺がんの有	ng/mL	2.0 - 37.7 ng/mL
	無やその増大度を調べる検査です。	<i>y</i>	
/ hts	抗TSHレセプター抗体		
ΓR-Ab (第3世代)	バセドウ病の鑑別診断や、抗甲状腺治療の中止時期判定	IU/L	2.0 IU/L 未満
	に活用される検査です。		
	血糖値を下げる働きのあるホルモンで、主に糖尿病の診		2.1 - 19.0 μ U/mL
インスリン	断、治療、経過観察、治療薬剤の選択などの目的で検査	μ U/mL	
	されます。		
C-ペプチド	すい臓から分泌されるプロインスリンがインスリンに変	ng/mL	
	化する際に生成されるタンパクで、膵臓の内分泌機能や		0.74 - 3.18 ng/mL
	インスリンの分泌状態を反映する検査です。		
	副腎皮質から分泌される糖質コルチコイドと呼ばれる物		
コルチゾール	質の一部で、副腎皮質に対して刺激を与えるホルモンと	$\mu \mathrm{g/dL}$	$5.00 - 18.00 \ \mu \text{g/dL}$
コルナソール	あわせて評価することによって、副腎や下垂体の働きが	μg/uL	$5.00 - 18.00 \ \mu \mathrm{g/dL}$
	正常かを検査するものです。		

採取日時 結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別 内分泌検査 受付日 受付番号 00010		材料 血液	
文的		単位	
テストステロン	副腎皮質から分泌されるホルモンで、男性では性腺機 能、下垂体、腎臓の病気、女性では副腎の病気を調べる 検査です。	ng/dL	男性:242.0 - 972.0 ng/dL 女性:10.0 - 75.0 ng/dL
E2	エストラジオール 月経周期と関連して分泌が増減するホルモンで、主に胎 児の状態や胎盤の機能を調べる検査です。	pg/mL	男性: 8.5 - 48.0 pg/mL 女性 卵胞期: 15.6 - 186.4 pg/mL 女性 排卵期: 20.9 - 267.7 pg/mL 女性 黄体期: 14.6 - 512.6 pg/mL 女性 閉経後: <2.0 - 47.3 pg/mL 女性 妊娠初期: 448 - 3028 pg/mL 女性 妊娠中期: 707 - 26743 pg/mL 女性 妊娠後期: 9500 - 40542 pg/mL
プロジェステロン	月経周期の関連して卵巣と胎盤から産生され、黄体機能 や胎盤機能を調節する働きのあるホルモンで、主に卵 巣、胎盤、副腎の機能を調べる検査です。	ng/mL	男性: 0.88 ng/mL 以下 女性 卵胞期: 1.00 ng/mL 以下 女性 黄体期: 15.50 ng/mL 以下 女性 閉経後: 0.73 ng/mL 以下 女性 妊娠初期: 2.16 - 54.89 ng/mL 女性 妊娠中期: 18.01 - 82.26 ng/mL 女性 妊娠後期: 60.00 - 316.52 ng/mL
インタクトHCG(αβ)	ヒトじゅう毛性ゴナドトロピン(インタクト) 正常な胎盤で作られるホルモンで、妊娠初期から高値となる妊娠反応にも利用され、異常妊娠の診断や経過観察のほか、HCG産生腫瘍の腫瘍マーカーとしても用いられます。	mIU/mL	要性 妊娠後期: 60.00 - 316.52 ng/mL 男性: 0.5 mIU/mL 未満 女性 非妊婦: 0.5 mIU/mL 未満 女性 妊婦 4~7週: 2150 - 167000 mIU/mL 女性 妊婦 8~11週: 25600 - 180000 mIU/mL 女性 妊婦 12~20週: 7310.0 - 136000.0 mUI/mI 女性 妊婦 21~40週: 1170.0 - 143000.0 mIU/mI
トータルHCG($\alpha\beta$ +f β)	ヒトじゅう毛性ゴナドトロピン(トータル) 正常な胎盤で作られるホルモンですが、じゅう毛性疾患 の検査やHCG産生腫瘍の腫瘍マーカーとしても用いられ ます。	mIU/mL	男性: 0.5 mIU/mL 未満 女性 非妊婦: 0.5 mIU/mL 未満 女性 妊婦 4~7週: 1930.0 - 167000 mIU/mL 女性 妊婦 8~11週: 25200 - 181000 mIU/mL 女性 妊婦 12~20週: 6780.0 - 142000 mIU/mL 女性 妊婦 21~40週: 1130.0 - 142000 mIU/mL
NT-proBNP	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント 心臓から分泌されるホルモンで、心臓の機能が低下して 心臓への負担が大きくなるほど多く分泌されるため、心 不全の診断と重症度の判定に用いられる検査です。	pg/mL	カットオフ 125 pg/mL
BNP	ヒト脳性Na利尿ペプチド 主に心臓の心室にて合成されるタンパクで、心不全の評 価、心肥大、心筋障害の指標となる検査です。	pg/mL	18.4 pg/mL 以下

患者番号 氏名 生年月日 性別

採取日時

結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別 腫瘍関連抗原 受付日		材料 血液	
受付番号 00010		The state of the s	
検査項目	検査の概要	単位	基準値
AFP	α-フェトプロテイン		7.0 ng/mL 以下
	本来は胎児期に産生され、健康な人にはほとんどみられ	ng/mL	
	ないタンパクで、肝細胞がんの補助診断、治療効果判		
	定、再発の指標などに用いられる検査です。		
PIVKA-2 (腫瘍)	ビタミンKが欠乏すると増加する異常なタンパクで、肝	A I I / I	33.3 mAU/mL 以下
	細胞がんなどの補助診断に用いられる検査です。	mAU/mL	
	がん胎児性抗原		
re a	胎児の時期に消化器粘膜で産生されるタンパクで、大腸	ng/mI	24 ng/mL N 5
CEA	がんをはじめとする腺がんなど、消化器系がんの補助診	ng/mL	3.4 ng/mL 以下
	断を行う検査です。		
2410.0	すい臓がんや胆管がんなどの、消化器系がんの補助診断	U/mL	37.0 U/mL 以下
CA19-9	として用いられる検査です。	U/mL	
CA125	卵巣がん、子宮がん、子宮内膜症などの補助診断、経過	U/mL	35.0 U/mL 以下
	観察などに用いられる検査です。	U/mL	
	乳がんの補助診断や転移予知、術後のモニタリングなど	II/I	25.0 U/mL 以下
CA15-3	を行うための検査です。	U/mL	
	サイトケラチン19フラグメント		2.8 ng/mL 以下
CYFRA	肺がん(特にへん平上皮がん)の診断、治療効果、再発	ng/mL	
	の指標に用いられる検査です。		
NSE	神経特異エノラーゼ		12.00 ng/mL 以下
	肺小細胞がんや神経内分泌腫瘍の診断補助として用いら	ng/mL	
	れる検査です。		
トータルPSA	前立腺特異抗原(トータル)		3.530 ng/mL 以下
	前立腺がんのスクリーニング、再発や転移の指標、治療	ng/mL	
	効果判定などに有用な検査です。		
	前立腺特異抗原(遊離型)		
	遊離型PSA比		
フリーPSA	PSAのうち、タンパクに結合していない状態で存在して	/I	フリーPSA:*** ng/mL
PSA F/T比	いる遊離型PSAを測定するもので、トータルPSAに対す	ng/mL	PSA F/T比: 25 % 以上
	る比をとることによって、前立腺がんとほかの疾患との		
	鑑別に有用な指標となります。		

腫瘍関連抗原は、腫瘍マーカーとも呼ばれる検査で、体内に悪性腫瘍(がん)ができると、健康な時にはほとんど見られない特殊な物質が血液中に現れることがあり、それを検査することによって腫瘍の有無を推測する検査です。しかし、実際は腫瘍がないのに陽性になることもありますので、結果の解釈は必ず主治医の判断に従ってください。